

北海道浮魚ニュース

令和4(2022)年度5号

2022年6月21日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ：http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo_news.html

◎道東太平洋イカ類北上期資源調査結果

調査船・北辰丸により実施したスルメイカ資源調査の結果をお知らせします。

調査海域におけるスルメイカの分布密度は低かった

調査期間：2022年6月2～6月6日

調査海域：道東太平洋（北緯41度線上の7調査点）

調査船：北辰丸（釧路水産試験場所属）、イカ釣機5台装備

調査方法：イカ釣機による夜間漁獲調査、CTDによる海洋観測

1. 水温環境及び流向流速（図1、図2、図3）

図1に漁獲調査点の表面及び50m・100m深の水温、及び漁獲調査の結果を示しました。漁獲調査点7点のうち5点で海洋観測を実施し、表面水温は9.1～17.8℃（昨年10.5～17.7℃）、50m深は3.7～15.4℃（昨年3.4～16.8℃）、100m深は1.6～12.4℃（昨年1.8～15.9℃）の範囲にありました。昨年同時期の調査との比較では、3水深いずれについても調査海域の西側で水温が高い傾向がみられた昨年に対し、2022年は釧路～根室海域南方の沖合に水温の高い海域がみられました（図2も参照）。

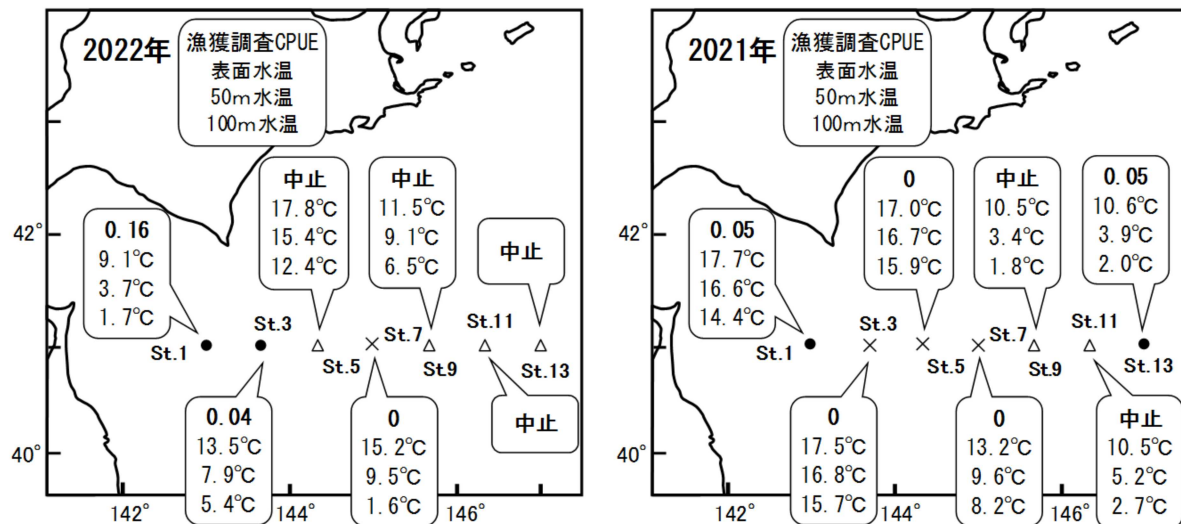


図1 各漁獲調査点でのスルメイカの漁獲調査結果と表面および50m・100m深水温（左：2022年、右：2021年）。●は漁獲あり。×は漁獲なし。△は漁獲調査中止

図2、図3に今回の調査、及び5月24～27日に実施した定期海洋観測調査でADCP（超音波流速計）観測により得られた50m（図2）、100m（図3）水深における航路上の流向流速を示しました。併せて、定期海洋観測調査で得られた50m深の水温分布図を図2に、広域的な水塊構造の目安となる100m深での流況の概要を図3に示しました。

全体として 50 m 深の水温は、スルメイカの分布の目安とされる 10℃以上、もしくはそれに近い海域が沖合域の東側を中心にみられた一方、道東沿岸から襟裳岬南方にかけては 4℃以下の低い水温となっていました（図 1、図 2）。100 m 深での流れは、襟裳岬東側沖合から根室海域南方沖にかけての水温の高い海域を中心とした反時計回りの渦がみられた一方、根室沿岸から釧路沿岸にかけての海域では親潮系の寒流と思われる東から西への弱い流れもみられました（図 3）。

なお、道総研水産研究本部では北海道周辺海域で 2 ヶ月ごとに 3 隻の調査船を用いた定期海洋観測を行い、水温及び流向流速について海況速報を発信しています。以下の URL で公開していますので、そちらも参照下さい。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyou/sokuhou>

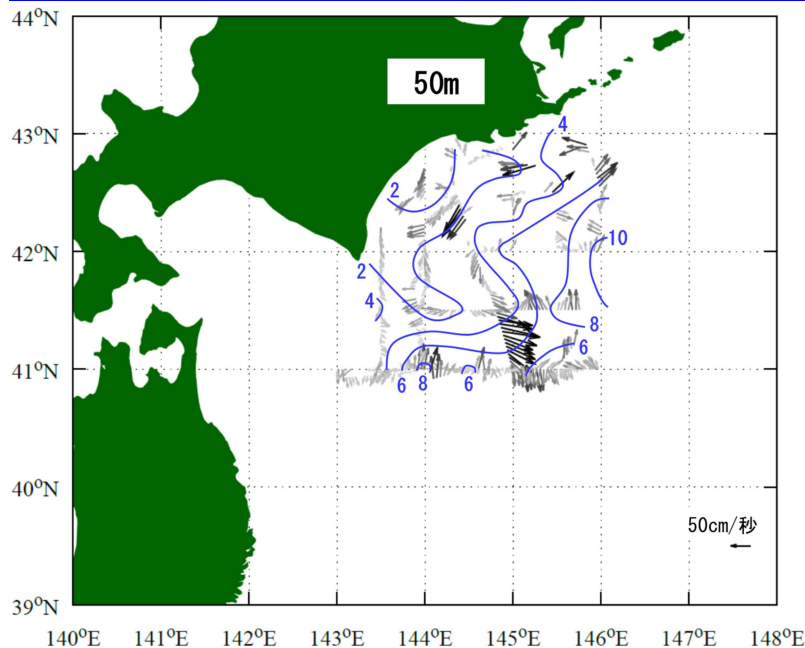


図 2 6 月定期海洋観測調査（5 月 24-27 日）で CTD 観測により得られた 50 m 深の水温分布、及び今回の調査と 6 月定期海洋観測調査で ADCP 観測により得られた 50 m 深の流向流速

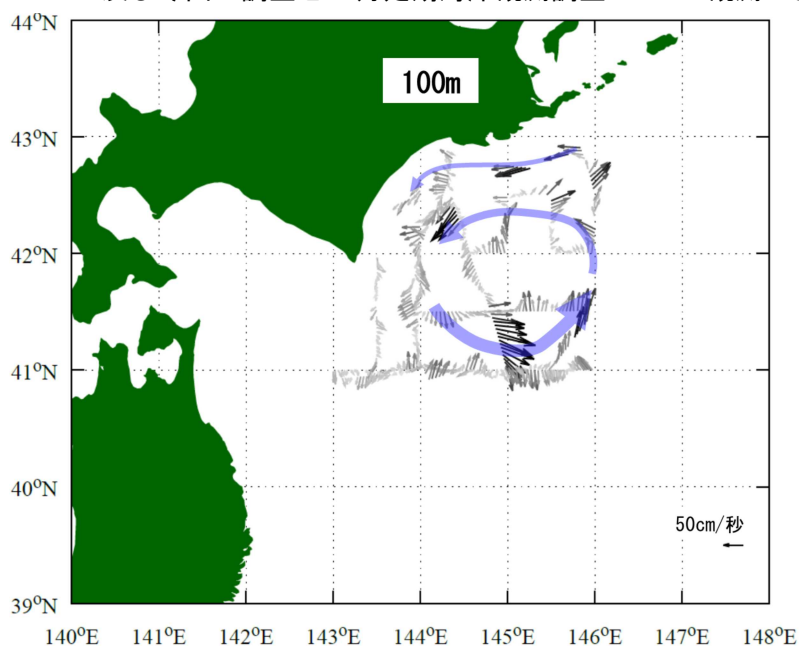


図 3 今回の調査と 6 月定期海洋観測調査（5 月 24-27 日）で ADCP 観測により得られた 100 m 深の流向流速。青い透明矢印は模式的に示した全体的な流れの概略

2. 分布密度 (図1、図4、表1)

各漁獲調査のCPUE (イカ釣機1台1時間あたり漁獲尾数) を基準としてスルメイカの分布密度を調べました。漁獲調査点7点のうち3点で漁獲調査を実施し、うち最も西側の St.1 で4尾 (CPUE : 0.16)、その東側の St.3 で1尾 (CPUE : 0.05) の計5尾の漁獲がありました (図1)。そのほか漁獲がなかった St.7 でも小型スルメイカの群れが船上からの目視で認められました。全調査点の平均 CPUE は 0.07 で昨年 (平均 CPUE : 0.02) を上回ったものの、依然として 2016 年以降の低い値に止まりました (図4、表1)。

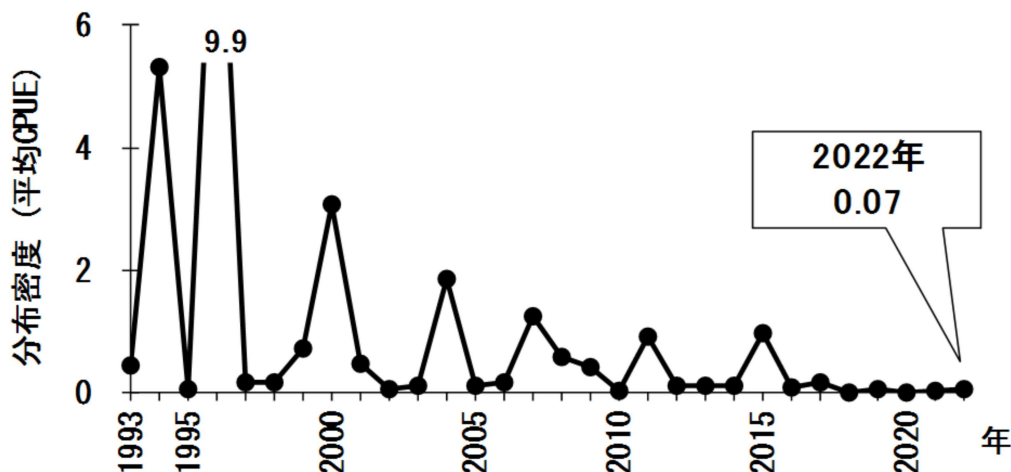


図4 スルメイカの分布密度 (平均 CPUE) の経年変化

表1 2010～2022年のスルメイカ調査結果

調査日程	漁獲尾数	平均CPUE	外套長組成		調査点数
			範囲(cm)	モード(cm)	
2010年 6/7～6/14	8	0.03	13-16	15	7
2011年 6/7～6/14	268	0.92	6-19	16	7
2012年 6/9～6/16	29	0.10	6-11	10	7
2013年 6/3～6/10	15	0.10	5-16	16	7
2014年 6/2～6/9	20	0.11	13-18	15	7
2015年 6/4～6/12	159	0.97	13-20	16	7
2016年 6/7～6/13	12	0.08	14-18	15-17	6
2017年 6/7～6/15	24	0.16	11-17	15	6
2018年 6/5～6/11	0	0.00	-	-	5
2019年 6/5～6/11	4	0.05	10-11	10,11	5
2020年 6/4～6/11	1	0.01	11	11	7
2021年 6/2～6/10	2	0.02	16, 24	16, 24	5
2022年 6/2～6/6	5	0.07	8-15	8-15	3

3. 魚体サイズ (表1)

釣獲調査により漁獲されたスルメイカ5尾の外套長 (胴長) は8～15cmの範囲にありました。